
二人の喧嘩

どれる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

二人の喧嘩

【Nコード】

N1907C

【作者名】

どれる

【あらすじ】

いつも仲良く悪さしていた二人だが、今日は喧嘩をしていた。でもやっぱり、二人はお似合いだった。

(前書き)

この作品の意味が分から無い、とおっしゃられる方も居るかと思いますが、これに意味なんて無いんです。軽く見て行ってください。

陽射しが強く照り付ける湖の入り江で、ブラックバスを養殖していた一組の男女が、何やら話し込んでいたが、次第に声を荒げ罵り合う様になっていた。

「おいっ！ 東馬！ いくら、あたしの気を引きたいからって、今のは聞き捨てならないわよ！ 嗚呼、ほんっと！ 美しいって罪だわっ！」

東馬ひつとと呼ばれた中学生くらいの少年は、産毛一つ無い右手で肩にまで架る細長い金髪を整えるのを止め、きりりとした眉と少々薄手の口元を引き攣らせ、少女に向かって苦笑いを浮かべる。

「黙れ！ このオトコ女がっ！ 誰がテメーみてえな幼児体型に色目使うんだあ？ オイっ！ 俺はせくしいなオネイさんが好きなんだよっ！ 誰もお前の汗ばんだ鎖骨が艶っぱかったり、そのムチムチした太ももに指を這わせたい、だなんて思ってないんだ、よう…」

少女がショートカットの、赤く染められた毒々しく輝く髪を逆立てる。少女自身が言っていた様に顔は目鼻立ちが整っていて美しいが、何処か我が強そうであり、身長はその年代と比べ平均的であったが、胸が無かった。

少女の、怒りで赤くしていた顔の色合いが益し、無い胸を張り、少しでも胸を大きく見せようと努力していた。

「なによっ！ あたしだって優しく包み込んでくれるシブイ大人の

オトコ、の方が好きなのよ！ あんたみたいな短足はお断りよつ！
誰もあんたの潤んだ瞳が案外カワイイとか、そのハスキーな声
で色々と囁かれたいだなんて思ってたないん、だからあ……このトン
マっ！」

「だあれえがトンマだつてえ？」

「あんたに決まってるでしょーが！ 東・馬・くうくん」

東馬は肩を怒らせ打ち震える。東馬は昔から名前の事だからかわ
れており、その言葉を耳にすると理性が効かない程に暴れたくなる
と言う事を少女は知っている筈のだが、二人が喧嘩をする度に名
前の事を持ち出して来る。名前の事ではからかわないと言う協定を
結んでいるにも関わらずに。

「こんちきしょお」

東馬の、体重を乗せて放つ鋭い右ストレートが空を切り、その勢
いの反動を利用し、返し刀で左フックを放つ。

「あんた、目障りだから、それ止めなさいよ！」

そう、東馬は溢れ出る闘志をシャドーボクシングをする事によっ
て発散していた。

「だったらあんな事、言うなよ！ 約束してただろ？」

「じめん東馬……」

喧嘩はひとまず収まったが、元々この喧嘩の原因と言うのが、学

校の近くの湖で釣り堀を開き『同級生を相手に一儲けしよう』と言う話から始まり『わざわざお金を出してブラックバスを釣りに来る奴なんて居ない、ブルーギルにしよう』と言う事で喧嘩をしていたのだ。

「……………史華。学校に戻ろうか？」

史華ふみがと呼ばれた少女が軽く頷き、二人はこの場を後にする。

二人は揃って馬鹿なのだ。

終わり

(後書き)

くだらない物を見てしまい、とても不快に思われた方も居ると思いますが。そんな方へ一言、私もそう思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1907c/>

二人の喧嘩

2010年10月9日02時06分発行